

常任委員会活動の評価について

1 チェックシートによる評価

3月7日（月）予算決算常任委員会理事会

3月8日（火）常任委員会（戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、健康福祉病院）

3月9日（水）常任委員会（総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察）

- (1) チェックシートの項目を参考に、1年間の委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を協議する。
- (2) 正副委員長、委員（理事）がそれぞれチェックシートに評点等を記載して提出する。

2 委員会活動評価総括表（案）について協議

3月10日（木）常任委員会（戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、健康福祉病院）

3月14日（月）常任委員会（総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察）

3月17日（木）予算決算常任委員会理事会

1での議論とチェックシートによる評価結果を踏まえて作成する「委員会活動評価総括表（案）」について協議し、決定する。

3 委員長会議での報告

3月22日（火）委員長会議

委員長から、「委員会活動評価総括表」により、1年間の委員会活動の評価を報告する。

※委員長会議開催後に常任委員会を開催した場合には、「委員会活動評価総括表」への補足の有無・内容について、当該委員会（理事会）において協議し、補足後の「委員会活動評価総括表」を委員長から議長に提出する。

4 次期委員会への引継ぎ

5月16日（月）委員長会議（予定）

議長から、次期委員長に、前期の委員会活動の評価を引き継ぐ。

チェックシート

資料 2

議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から評価を行うためのチェック項目をまとめました。

これまでの委員会活動を振り返り、評価の視点を参考にして、委員（理事）の皆さんで自己評価を行っていただき、5段階評価をしてください。（但し、例えば「公聴会」を開催しなかった時などは、該当なしとして当該項目の評価欄は「－」をつけてください。）

項目	委員会名（ 評価の視点	評価
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。） { }	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。） { }	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。） { }	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。） { }	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。） { }	

項目	評価の視点	評価
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。	
	参考人から十分な調査を行うことが出来たか。	
	参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	[]	
	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。	
	公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。	
	公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
(8)施策への反映度	(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	
	[]	
	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。	
	執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。	
(9)調査・審査への活用度	調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。	
	(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	
	[]	
	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	
	[]	

※評価は各項目毎に行い、5点満点とします。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった)
但し、該当項目がない場合は評価を行いません。

～ ありがとうございました。～

() 委員会活動評価総括表

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

・
・
・
・
・

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。	
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。	
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

項目	評価の視点	平均点
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。	
	参考人から十分な調査を行うことが出来たか。	
	参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。	
	公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。	
	公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。	
	執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。	
	調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

戦略企画雇用経済常任委員会 活動計画（実績）書（案）（平成27年5月～平成28年5月）

平成28年3月8日現在

1 所管調査事項

- ・県政の総合企画調整について
- ・雇用対策について
- ・エネルギー政策について
- ・産業振興（農林水産業を除く。）について
- ・国際交流及び観光の振興について
- ・会計管理、監査その他行政運営の適正確保について

2 重点調査項目

- (1) 県行政の全般に亘る総合的な計画について
- (2) 観光振興及び国際展開について
- (3) 産業振興について
- (4) 雇用対策について
- (5) 中小企業・小規模企業の振興について
- (6) 新エネルギーの推進について

3 活動計画表

重点調査項目	平成27年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) 県行政の全般に亘る総合的な計画について (2) 観光振興及び国際展開について (3) 産業振興について (4) 雇用対策について (5) 中小企業・小規模企業の振興について (6) 新エネルギーの推進について	常任委員会 所管事項説明 (5/26)	常任委員会 所管事項 の調査等 予決分科 会 補正予算 等 (6/18、 22)	県内調査 (7/23)	県内調査 (8/5) 常任委員会 (8/10)	県外調査 (9/2～4)	常任委員会 議案、所管事 項の調査等 予決分科会 補正予算等 (10/5、7)	予決分科会 決算認定議 案、 当初予算編成 に向けての基 本的な考え方 (11/4) 予決分科会 補正予算 (11/27)	常任委員会 議案、所管事 項の調査等 予決分科会 補正予算等 (12/9、11)		予決分科 会 補正予算 (2/25)	常任委員会 議案、所管事項の調査等 予決分科会 当初予算、補正予算等 (3/8、10)		
執行部の主な予定		・成果レポ ート（案）	・三重県 国土強靱 化地域計 画 ・みえ食 の産業振 興ビジョ ン		・みえ県民力ビジョ ン・行動計画（中間案） ・三重県人口ビジョ ン、三重県まち・ひ と・しごと創生総合戦 略（最終案）	・平成28年度 経営方針（案） ・一般会計、 特別会計決算 ・三重県人口 ビジョン、三 重県まち・ひ と・しごと・ 創生総合戦略	・当初予算の 考え方	・当初予算要 求状況 ・みえ県民力 ビジョン・行 動計画（最終 案）		・当初予 算案	・平成28年度経営方針 ・みえ県民力ビジョン・行 動計画 ・三重県教育施策大綱（仮 称） ・三重県新エネルギービジ ョン改訂版 ・三重県観光振興基本計画 （平成28年度～31年度）		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

7月23日、8月5日（日帰り） 伊勢志摩サミットやインバウンド等の取組、障がい者雇用の促進、中小企業・小規模企業の経営支援、新エネルギーの推進等の取組を調査した。

(2) 県外調査

9月2日～4日（2泊3日） 北海道洞爺湖サミットが開催された会場や北海道庁等において、海外からのお客様のおもてなしや情報発信、ポストサミットの取組、「食」と観光に関する情報発信などの取組を調査した。

平成 27 年度の主な議会の取り組み（参考）

1 議員勉強会の開催

- ・ 第 1 回 「人口減少社会の移住・定住促進～地域における魅力ある生き方『半農半 X』～」
塩見直紀 氏（半農半 X 研究所代表）
- ・ 第 2 回 「多様化する広報媒体と、その特徴を活かした効果的な広報」
北村啓司 氏（株式会社 CAP プロデューサー）
- ・ 第 3 回 「地方創生と三重大学の役割」
駒田美弘 氏（三重大学学長）

2 みえ現場 de 県議会の開催

- ・ 第 1 回 「若者の声を県政に～地方創生と人口減少対策～」
- ・ 第 2 回 「鳥獣害に強い地域づくり」

3 人口減少対策調査特別委員会の設置

4 地方創生に関する政策討論会議の設置

5 三重県手話言語に関する条例検討会の設置

6 「成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ

7 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案などに関する知事への申し入れ

8 公共政策大学院からのインターンシップ実習生の受入れ